

科目名	楽式論	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	森本 頼子	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

音楽作品を構成するさまざまな音楽形式の原理や構造を学びます。西洋音楽の古今の作品を分析・研究して、形式的特徴を具体的に理解します。音楽作品を分析するための基礎力を身につけ、演奏、創作、研究、教育に役立てます。

＝履修の条件と学習の方法＝

基礎的な楽典の知識をもっていることを条件とします。配布プリントをもとに、予習復習をしてください。授業では、楽曲分析や音楽鑑賞の時間を多く設けるため、私語は厳禁です。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス（講義の目標や内容の確認）、楽式論とは
- 2回 動機と楽節
- 3回 1部形式、2部形式、3部形式
- 4回 変奏曲（1）原理と構造
- 5回 変奏曲（2）装飾変奏
- 6回 変奏曲（3）性格変奏
- 7回 複合3部形式
- 8回 ロンド形式（1）原理と構造、小ロンド
- 9回 ロンド形式（2）大ロンド
- 10回 ソナタ形式（1）原理と構造、提示部
- 11回 ソナタ形式（2）展開部、再現部
- 12回 ソナタ形式（3）さまざまなソナタ
- 13回 フーガ形式（1）カノン
- 14回 フーガ形式（2）原理と構造
- 15回 フーガ形式（3）さまざまなフーガ
- 16回 試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

期末試験、授業時に行う小テスト（5回程度を予定）の成績に加えて、出席状況と受講態度から総合的に評価します。

＝テキスト（必携）＝

使用しません。ただし、毎回プリントを配布するので、必ずファイリングして保管してください。